

教職支援
センター

NEWS

つなぐ

第4号

令和6年5月発行
高崎健康福祉大学
教職支援センター

本学の学生たちの底力!!

～令和5年度は公立学校の合格率78.8%を達成しました～



教職支援
センター長
栗原 幸正

コロナも5類となった令和5年度は、高崎健康福祉大学で教育職・保育職を目指す学生たちの真価が問われた1年であったと思います。なぜなら、本年度の卒業生は大学生活の大半をコロナ禍の中で過ごすことになり、友達作りやサークル活動だけでなく、学修においても対面での学び合いができない状況が続き、一人一人の学生が、個で学修を積み上げるほかなかったからです。その状況から解放され、令和5年度は学び合いが次々と復活しましたが、それまでにどのように学びを積み上げてきたかが問われることになりました。採用試験の結果をとて心配していましたが、学生たちは底力を発揮して、教員採用試験では78.8%の合格率を獲得し、公立保育園に7名が就職いたしました。それは、コロナ禍にあっても、自分の希望を見失わず、真摯に自らの学びと向き合った学生たちの底力の発揮の証だと考えております。この成果を、次年度以降の学生たちに「つなぐ」ことを目標に、教職支援センターのスタッフ一同、これまで以上に質の高い支援を繰り広げて参りたいと思います。

卒業後も生きる〔大学での学び〕と〔健大マインド〕

—群馬県公立中学校(英語)合格—
樋 沙織さん



大学卒業後、私は群馬県内の中学校で臨時的英語教師として働いています。仕事はやりがいがありますが、日々の忙しさから採用試験の準備が難しく、特に二次試験に向けて論理的な考えを伝えるスキルを強化したくても一人では難しいと感じました。そこで、教職支援センターの対策講座に参加することを決断しました。

センターでは大学時代にお世話になった先生方からの指導だけでなく、近況報告や悩みにも親身になって相談に乗っていただきました。そのおかげで今回の採用試験に合格し、学校現場で理想の授業を実現し、子どもたちの成長をサポートするスタートラインに立つことができました。

教員生活は大学で学んだことが直に生きることが多いですが、子どもたちの前でいう授業は変化に富んでおり、現場での学びは一層面白味があります。これまでの経験を活かし、今後も子どもたちの成長をサポートできるよう努力していきます。

—越谷市公立保育所合格—
星野 みなみさん



私は大学に入学した時からずっと公立の保育士になりたいと思っていました。そのため、教職支援センターに通い、進路相談や勉強方法についてアドバイスを頂きました。面接練習では、様々な角度からの質問に柔軟に答えられるよう教職支援センターの先生方が親身になってくださり何度も練習を重ねました。4年生で受けた採用試験では最終面接で残念な結果となってしまい、悔しい思いをしました。しかし、公立の保育士になりたいという思いを諦めることが出来ず、働きながら受験する決意をしました。仕事で教職支援センターに行くことが出来ず不安でしたが、4年生の時に頂いたアドバイスや沢山の面接練習を思い出して自分で繰り返し練習し、自信をもって試験に臨むことが出来ました。受験で経験したことや今までの学びを活かしてこれから頑張りたいと思います。



教職支援センター

学生支援事業①⇒進路相談・各種面接・採用試験サポートの実施
 学生支援事業②⇒予備校が実施する採用試験対策講座や模擬授業への参加支援

学生を応援します

小学校、中学校…、
幼稚園、保育園…、
進路に悩みを持つ
学生に優しく丁寧に
寄り添います！



採用試験に臨んだ
先輩達の生の声を
聴く会を設定します！



教員免許状一括申請・保育士登録関連事業

卒業年次生の便宜を図るため、各学生からの申込書類を一括して関係機関に申請する業務を行っています。そのため教員免許状については、学位記授与式当日に受け取ることができます！

教職課程の自己点検・評価事業

文部科学省が推進する大学の教職課程の自己点検・評価実施のための事務局として、本学の教職課程の点検や評価を実施し、本学の教職課程の質の向上に取り組んでいます！

教職履修カルテに関する先進的な取り組み

教職課程に必須とされる履修カルテについては、他大学ではあまり例のない独自のクラウドシステムを活用し、学生や教員の利便性向上と情報の一括管理を図るなど、先進的な取り組みを行っています！

各種有償ボランティア窓口事業

高崎市内の小・中学校を中心に、子どもたちの支援を目的とした各種有償教育ボランティアの紹介・斡旋を行っています。参加した学生は、子どもたちとのふれあいを通して教育職・保育職に対する自らの資質を高めています！

ボランティアで
小学校の
子どもたちと
関わります！



採用試験対策講座&模試の計画・実施

教育職・保育職・公務員等の対策講座を外部業者と連携・協力し、年3回実施します。模擬試験も3～4回計画し採用試験に役立てています。

教職支援センター 令和6年度スタッフ紹介



センター長 栗原 幸正
 副センター長 野田 敦史
 専属教員 北村 陽
 教職指導主事 伴内 弘美
 平林 茂・三村 国宏
 教職支援員 後藤 章・中村 秀樹
 角田 映子
 専任事務職員 針谷 和穂子

教職支援センター案内図

教職支援センターは9号館の1階にあります。



「教育職・保育職等で働く!」という夢を実現した

健大卒業生からのメッセージ

Message from Graduates



教諭

埼玉県公立小学校

渡邊 拓人さん (令和5年度卒)



私は、教員になりたいという強い思いを胸に大学生活を送ってきました。しかし、その生活は決して常に順調に進んできたわけではありませんでした。特に大学三年生の頃は、採用試験対策の勉強で不安に駆られる日々が続いていました。そんな当時の私を支えてくれたのは教職支援センターの先生方でした。特に小論文対策では、小論文を書いたことのない私に書き方を丁寧に教えてくださったり、書いた小論文を何人もの先生が添削して下さったりしたおかげで、合格を掴みとることができました。この諦めずに一生懸命頑張ってきた経験や大学生活で学んだことを活かして、より良い教員になれるように頑張っていきたいと思います。皆さんも頑張ってください! 応援しています!

幼稚園
教諭

栃木県私立幼稚園

木暮 早紀さん (令和5年度卒)



私が幼稚園教諭になりたいと決意したのは、大学4年の春頃でした。進路に迷っていた私は、先生方のご指導から、自分が本当にやりたいと思う仕事を見つける事ができました。就職活動をする中で、私にとって教職支援センターの支えはとても大きいものでした。悩んでいた際の進路の相談は勿論のこと、面接練習や小論文指導、ピアノや製作など実技試験対策と様々なご指導をしていただきました。特に、私は小論文が苦手で心配でしたが、毎週対策をしてくださり、本番には自信が持てるようになりました。また、一緒に教職支援センターを活用し頑張る仲間が存在があったことも、夢を諦めずに頑張ることのできた大きな理由だったと思います。皆さんもぜひ、教職支援センターを活用し素敵な夢を実現させてください!

教諭

群馬県公立中学校

新井 雅也さん (令和5年度卒)



私は小学校に通っていた当時、担任の先生が自分の個性や良さを認めてくれたことで、自信を持って学校生活を送ることができました。この経験から教員になりたいという夢を抱きました。教員採用試験を受けるにあたり、勉強に苦手意識を持っていたことや小学校教育実習が一次試験一週間前まで控えていたこともあり、大きな不安を抱えていました。しかし、教職支援センターの先生方が行ってくださっていた一次試験対策講座で、一般教養・教職教養についてわかりやすく学ぶことができました。また、勉強の計画の立て方や勉強方法についても指導していただき、試験当日は自信を持って受験することができました。今後は子どもの個性や良さを認め、伸ばすことができる教員をめざし頑張っていきます。

保育
教諭

高崎市私立認定こども園

加藤 千聖さん (令和5年度卒)



私は小さい頃から、保育者になりたいという夢がありました。大学に入学していざ保育士の勉強ができると思っていたら、コロナの影響があり、思うような学校生活を送ることができませんでした。また、実習を行なっていく中で、「自分は保育者に向いていないのかもしれない」と思うようになり、一度は夢を諦めることもありました。しかし、将来のことについて考えたとき、「やっぱり保育士になりたい、子どもと関わりたい」という思いが強く、改めて将来の夢を再確認することができました。試験の準備の時には、教職支援センターの先生方に履歴書の添削や、面接練習を何度も行って頂きました。また、自分が感じている不安な部分などを相談し、励まして頂くこともありました。そんな周りの方々のサポートがあったからこそ、夢を実現することができたのだと思います。保育者になってからもピアノなど様々な部分で不安なことも出てくると思いますが、今まで学んできたことや、経験してきたことを思い出しながら、一人一人の子どもの気持ちに寄り添える保育者になれるよう、頑張りたいと思います。皆さんも自分の夢を諦めずに、教職支援センターを頼りながら、頑張ってみてください! 応援しています!

教諭埼玉県立特別支援学校
小林 萌香さん (令和5年度卒)

私は、小学生の頃からの「教師になりたい」という夢を叶えるために、教員採用試験に臨みました。試験が近づくにつれ、私はまだまだ対策が足りていないのではないか、合格なんてできないのではないかなど、不安が大きくなっていきました。そんなとき、教職支援センターの先生方が私をたくさん励ましてくださいました。不安に押しつぶされて取り乱してしまったときも、どんなに小さなことを相談したときも、いつでも先生方は親身になって話を聞いてくださり、寄り添ってくださいました。前日まで対策や激励をしてくださった先生方のお陰で、自信をもって試験当日を迎えることができました。

これからは、教師として児童生徒が自信をもって輝けるような支援を行えるように頑張っていきたいと思えます。

保育士高崎市私立保育園
太田 捺美香さん (令和5年度卒)

私は、幼稚園児の頃から保育士になることを夢みてきました。初めは地元での就職を考えており、就職活動を行っていましたが、第一希望の園から内定を頂けず、これからの就職活動に不安と迷いを感じ、教職支援センターの先生方に相談をしました。結果、地元での就職は叶いませんでしたが、とても雰囲気良く、自分が納得できる園を見つけることができました。

就職活動を通して、教職支援センターで、励ましの言葉をかけて頂き、園探しから一緒に行っていたことで、とても良い園と出会う事ができました。教職支援センターの先生方はとても温かく、親身になって寄り添ってくださいます。就職活動の際は、ぜひ相談してみてください。4月から、夢だった保育士として沢山の子ども達と共に成長していきたいと思えます。

養護教諭群馬県立高等学校
荒木 千奈津さん (令和5年度卒)

私は、高校時代から養護教諭になりたいと思っていました。そのため大学に入学してからは、教員採用試験対策を行いながら看護師課程と養護教諭課程の両立を行ってきました。時には両立することを困難に感じることもありましたが、養護教諭課程や教職支援センターの先生方、同じ養護教諭を目指す仲間たちの支えにより乗り越えることができました。

また、教職支援センターでは面接練習等、実践的な指導やアドバイスをいただきました。先生方の丁寧で熱心な指導と手厚いサポート体制は私の力となり、自信をもって試験に臨むことができました。

友人や先生方に支えられたことへの感謝の気持ちを忘れず、子どもたち一人一人に寄り添える養護教諭になれるよう日々努力していきます。

保育士新潟県妙高市公立保育所
八木 万実花さん (令和5年度卒)

私は、公立保育所に通っていた頃の自分の気持ちを優しく受け止め、共感してくれた先生と出会ったことから、保育者を目指しました。大学の授業や実習と試験勉強の両立の難しさや、自分の学力の無さから諦めそうになったこともありましたが、しかし、教職支援センターの先生方や一緒に勉強をする友人の前向きな言葉が支えになり、最後までやり遂げることができました。また、実技試験や面接に向けた練習の際に様々な視点からアドバイスをくださったことから、自信を持って試験に臨むことができました。

今後は、これまでの学びを活かして、子どもと様々な気持ちを感じられる保育者になれるよう頑張りたいです。みなさんも夢に向かって頑張ってください。

栄養教諭茨城県公立小学校
三浦 菜桜さん (令和5年度卒)

私は、自分の好きな「食」の面から子どもたちの健康や成長に関わりたいと思い、栄養教諭を志望しました。

私の周りには、栄養教諭の試験を受ける学生が少なく、最初は、試験の勉強の仕方分からず不安に思うことがありました。しかし、教職支援センターが開催して下さる対策講座に参加をさせていただき、先生方がとても丁寧に指導をしてくださったおかげで、試験に向けて勉強し続けることができました。

また、子ども教育学科の学生とともに面接や小論文の練習をさせていただき、たくさんのアドバイスや温かい前向きな言葉を頂きました。感謝の気持ちを忘れず、これから出会う先生方や子どもたちから多くのことを学び、自分らしく、子どもたちの成長に関わっていきたいです。

一般事務富岡市役所
須原 有彩さん (令和5年度卒)

私が本格的に行政の試験を受ける覚悟を決めたのは4年生の7月でした。とにかく試験までの時間がない中での対策だったため、不安と焦りからネガティブになることが多々ありました。しかし、教職支援センターの先生方が私を鼓舞し、面接対策では行政に特化した練習を何度もしてくださり、自信を持って臨むことができました。容易ではない挑戦だった分、最終合格が出た時は非常に嬉しかったです。あの時覚悟を決めて、仲間と励まし合いながら努力をして良かったと感じています。

今後は、保育や教育、福祉などを学んできた私だけの強みに自信を持ち、新しいことを積極的に学びながら市の職員として励んでいきたいと思えます。皆さんも沢山考えて、悩んで、後悔のないよう挑戦してみてください。応援しています。